

学術フォーラム

# 立法システム改革と 立法学の再編

*Reconstructing the System and Theory of Legislation*

# How Can We Improve Our Democracy?

日時 | 2014年7月6日[日] 13:00~17:00

会場 | 日本学術会議・講堂 地下鉄千代田線・乃木坂駅 出口5から徒歩1分

主催: 日本学術会議(実行担当: 法学委員会「立法学学科会」)

共催: 科研費助成共同研究体「立法システム改革の立法理学的基盤構築」

問い合わせ先: 立法学フォーラム事務局 [rippougaku@gmail.com](mailto:rippougaku@gmail.com)

参加方法: 参加無料、事前申し込み不要。受付順で入場、満席になり次第、受付中止。

12:30	受付開始/開場
13:00~13:05	開会挨拶 小林良彰(日本学術会議副会長)
13:05~13:20	趣旨説明「立法システム改革と立法学の再編」井上達夫(法学・東京大学)
13:20~13:45	報告「立法システムの基盤変動とその問題点」川崎政司(立法学・慶應義塾大学)
13:45~14:10	報告「議会民主政の変動と立憲主義の危機」西原博史(憲法学・早稲田大学)
14:10~14:35	報告「熟議民主主義と立法システム改革」齋藤純一(政治哲学・早稲田大学)
14:35~14:50	コメント: 「政治の視点から」鈴木寛(公共政策学・東京大学)
14:50~15:05	コメント: 「憲法の視点から」高見勝利(憲法学・上智大学)
15:05~15:20	コメント: 「私法の視点から」山田八千子(民法学/法哲学・中央大学)
15:20~15:30	休憩
15:30~16:50	パネル・ディスカッション
16:50~17:00	閉会挨拶「まとめ: 本フォーラムの学術的・社会的意義」井田良(刑法学・慶應義塾大学)

司会・進行: 井田良・松原芳博(刑法学・早稲田大学)

55年体制崩壊後、  
現代日本の議会民主政は幾多の曲折を経つつ、  
政権交代により政治が大きく変動する時代を迎えている。  
それとともに、国論を分断するような重要な問題について  
矢継ぎ早に法改正が断行され、  
この傾向を助長する方向に日本の立法システムも変動しつつある。  
本フォーラムでは、現代日本の議会民主政と  
立法システムの変動が孕む問題点を解明し、  
立法システム改革の指針を示しうる学への  
立法学の再編について協議する。

小林良彰

*Yoshiaki Kobayashi*  
日本学術会議副会長

井上達夫

*Tatsuo Inoue*  
法哲学・東京大学

川崎政司

*Masaji Kawasaki*  
立法学・慶應義塾大学

西原博史

*Hiroshi Nishihara*  
憲法学・早稲田大学

齋藤純一

*Junichi Saito*  
政治哲学・早稲田大学

鈴木寛

*Kan Suzuki*  
公共政策学・東京大学

高見勝利

*Katsutoshi Takami*  
憲法学・上智大学

山田八千子

*Yachiko Yamada*  
民法学/法哲学・中央大学

井田良

*Makoto Ida*  
刑法学・慶應義塾大学

